



河小だより

校区内
全戸回覧

11月5日発行

心を一（いつ）にするとは・・・

校長 野上 孝

10月30日（土）の学習発表会は、とにかく“素晴らしい”の一言につきます。学年に応じた学習成果がしっかりと表れ、みんながしっかりと力を合わせた発表でした。



- ・ 1年生の「くじらぐも」。大きな声と体いっぱい表現する姿から、普段の音読練習の積み重ねがしっかりと生きていました。
- ・ 2年生の「えがおのひみつ たんけんたい」。地域のお店や施設でお仕事体験させてもらったことを、クイズなどを取り入れて工夫しながら発表しました。
- ・ 3年生の歌とダンス。ちょっぴり難しい振付も、生き生きと楽しそうにダンスしていました。
- ・ 4年生の「カコちゃんに叱られる」。佐渡の鬼太鼓と伝統芸能について、専門家から教えてもらったことを、某番組風に詳しくもわかりやすく発表できました。
- ・ 5年生の「はばたけトキの島」。朱鷺の生態やその歴史に学びながら、環境問題について真剣に考えさせられました。
- ・ 6年生の「ゴールドリーム」。金銀山学習の成果と将来の夢は、佐渡への思い、愛着、自分たちにできることなど夢あふれる発表で、見ていてほのぼのしました。器楽演奏も難しい曲ですがしっかりと仕上げていました。11月11日の佐渡市小学校音楽発表会本番でも、きっと自信をもって発表してくれるものと思います。

あっという間の2時間でした。大勢の皆様からご参観いただき、おかげさまで大成功の学習発表会となりました。ありがとうございました。

さて、これまでの学習発表会に向けての練習や器楽演奏の練習時に、教師が「心を一つにして」と伝えて指導する場面がありました。また、学習発表会の器楽部代表児童のあいさつでも「みんなの気持ちを一つにできました」との言葉がありました。この言葉を聞くとつくづく考えさせられます。

一体、「心を一（いつ）にする」とはどういうことなのか・・・？

いろいろな考え方があると思いますが、私は少なくとも「みんなと同じことをすること」だと思います。今の時代、価値観は多様ですし、「個」が重視されています。もちろんそれは否定しません。しかし、何かの目標に向かって、みんなと一緒に合わせていく。そして、集団のパフォーマンスとしてきっちりやり遂げることにも大きな価値があると考えます。考え方を他の人と合わせるといよりは、行動を合わせて完成度を上げたとき、子どもたちには別の世界が見えてくるのかもしれない。